

## 間伐検討会を実施しました

去る11月8日(火)、一関市萩荘字赤猪子地内のスギ林において管内の森林組合、林業事業体、市町、計48名を対象に間伐検討会を開催しました。この検討会は間伐を実施するうえで、地域や作業者によって間伐対象木の選定(以下選木と表示)が千差万別であり、森林所有者への提案内容と実施後に差異が生じないように、間伐の推進及び技術の向上を図るために開催したものです。

### 【選木作業】

2班に分かれ、10m×10mのプロットを作成、毎木調査、選木を行いました。木の優劣は一目で判断できるものの、素性の良い木が並列すると保全・生産派(切る)と保護派(残す)が対立し、検討に時間を要しました。

### 【間伐作業】

選木後、実際にプロット内を間伐しました。林内に光が入ると「良い山になった」と声があ

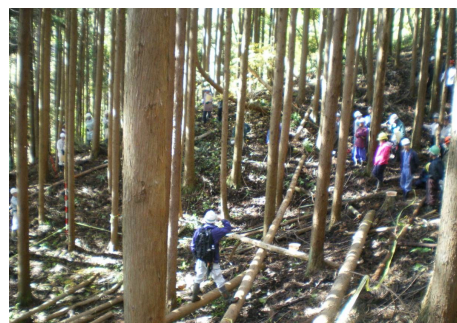
り、改めて間伐の良さを実感しました。

### 【おわりに】

地形、林況、各々の視点や考え方の相違、答えのない選木の難しさに経験の必要性を実感しました。また、一部の参加者には、プロットの作り方や毎木調査、林尺の使い方が分からないなど、伐採のプロであっても選木は未経験の方もおり、間伐の良さと奥深さを知る検討会となりました。



選木作業中



間伐後の状況